

第9次富山県職業能力開発計画 (平成23年度～平成27年度)

実施状況

平成28年3月現在

1 高度・先端的なものづくり分野の人材育成

取組の基本方向

今後ますます激化する国際競争を勝ち抜くため、高度・先端的なものづくり分野の人材を育成するとともに、将来のものづくり産業を担う人材を育成します。

【基本的施策の柱】

- 1 先端的なものづくり分野の人材育成
- 2 ものづくりの高度化のための人材育成
- 3 高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成
- 4 将来のものづくり産業を担う人材の育成

基本的施策と主な事業の実施状況

1 先端的なものづくり分野の人材育成

○最先端設備を活用した研究開発プロジェクト(ものづくり産学官協働バトンゾーン形成研究会)の実施

研究会を設置し、研究課題に関連する最前線の情報を学ぶ技術セミナーの開催

	H25	H26	H27 (H28.2末現在)
参加者数	583人	193人	171人



長期インターンシップ

○高度ナノテクに関する研修会の実施

ものづくり研究開発センターにおいて、県内企業者を対象に高度ナノテクに関する研修会を開催

	H25	H26	H27
受講者数	10人	12人	6人

○長期インターンシップの実施

ものづくり研究開発センターの研究とのマッチングが可能な内容について、大学生等の研究生の長期間受入を実施

	H25	H26	H27
参加者数	5人	10人	12人

○富山県ものづくり大賞の実施

県内に本社、主たる事業所、研究開発拠点またはそれに類する施設を置く製造業を営むものづくり企業を対象に、高度な技術開発により県内ものづくりの活性化に寄与した企業を顕彰

	H23 (第2回)	H24 (第3回)	H26 (第4回)
大賞	(株)ゴールドウイン (汗・加齢臭 消臭下着MXP)	富山化学工業(株) (オゼックス細粒小児用15%)	(株)シキノハイテック (静止画像圧縮伸長ハードウェアにおける超高精細画像技術の開発)
優秀賞	アイシン軽金属(株) (アルミ製ステアリングシャフト)	(株)スギノマシン (バイオマスナノファイバーBiNF-i-s (ピンフィス))	速水発条(株) (自動製造機による自動車シートベルト用巻き取りぜんまいばねユニットの開発)
特別賞	シーケー金属(株) (CKパーフェクトロック)	(株)ワコーテック (静電容量型6軸力覚センサ)	(株)ティカ製薬 (口腔内崩壊錠の製剤技術『howatt®技術』の開発) (株)ミヤモリ (伸縮性にすぐれた高耐久ロボットウェアの開発)

2 ものづくりの高度化のための人材育成

○富山県立大学における若手エンジニアステップアップセミナーの実施

企業の若手技術者に対する高度な技術者教育を実施

	H25	H26	H27
受講者数	74人	95人	61人

○富山大学、富山高等専門学校等工学系高等教育機関における産学官共同研究の実施

富山大学、富山高等専門学校、富山県立大学、県工業技術センターによる産学官の共同研究等を実施

	H25	H26	H27
共同研究数	315件	345件	383件

○ものづくり人材パワーアップ研修(キャリアアップコース)の実施

企業内の中核技能者として、現場改善やコスト・生産技術マネジメントスキルの習得を図る研修を実施

	H25	H26	H27
受講者数	24人(2コース)	35人(2コース)	33人(2コース)

※ H25は「テクニカル・エンジニア育成研修」として実施

	H25	H26
現場リーダー養成コース受講者数	24人	35人

※ 「ものづくり技能人材育成研修」として実施

○高度ものづくりマネジメント研修の実施(H26～)

ものづくり企業の生産部門の管理者に対して、高度な生産マネジメントの習得を図る研修を実施

	H26	H27
生産力向上エキスパートコース 受講者数	12人 (1コース)	14人 (1コース)
グローバル展開エキスパートコース 受講者数	31人 (4コース)	



若手エンジニアステップアップセミナー



ものづくり人材パワーアップ研修

○デジタルものづくり人材育成講座の実施(H26～)

3Dプリンターや産業用ロボットなど、デジタルものづくりに関する在職者向け講座を開催

	H26	H27 ^(H28.2未現在)
受講者数	20人 (3コース)	53人 (6コース)

○グローバル人材育成講座の実施

ものづくり企業の海外ビジネスを支援するため、グローバル化に対応した在職者向け講座を開催

	H25	H26	H27 ^(H28.2未現在)
受講者数	56人	80人	12人
うちレディメイド	43人(5コース)	20人(3コース)	12人(2コース)
うちオーダーメイド	13人(1コース)	60人(4コース)	



グローバル人材育成講座

○オーダーメイド型在職者訓練の実施

個々の企業の要望に応じて、日程、カリキュラム等の調整を行うオーダーメイド型の職業訓練を実施

【実施状況は、P5・目標指標に記載】

3 高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成

○高度技能人材育成研修の実施

熟練技能者によるCNC旋盤等の高度技能習得を図る実技研修を実施

	H25	H26	H27
受講者数	38人(8コース)	30人(8コース)	34人(8コース)

※H25～H26は「ものづくり技能人材育成研修」として実施



高度技能人材育成研修

○若年技能者人材育成支援等事業の実施(H25～)

県職業能力開発協会において、技能者の人材育成・技能尊重機運の醸成を図るため、高度な技能をもった「ものづくりマイスター」が中小企業等で若年技能者への実技指導及び技能士を活用した意識啓発事業等を実施

	H25	H26	H27 (H28.2末現在)
ものづくりマイスター出前講座 受講者数	104人(4団体)	69人(10団体)	94人(20団体)

○認定職業訓練校における職業訓練の実施

事業主団体等が知事の承認を受けて、従業員に対し実施する職業訓練

	H25	H26	H27
認定校数	14校 (普通課程9、短期課程11)	14校 (普通課程9、短期課程10)	14校 (普通課程9、短期課程10)

4 将来のものづくり産業を担う人材の育成

○小学校における理科等の専科教員の配置

小学校3～6年対象の理科等専科教員を配置

	H25	H26	H27
配置校数	66校	71校	71校

○「とやま科学オリンピック」の実施

小・中・高校生を対象とした「とやま科学オリンピック」を開催

	H25	H26	H27
参加者数	1,039人	1,093人	1,108人
入賞者数	316人	337人	343人



とやま科学オリンピック

○高校生に対するものづくり技能出前講座の実施(H25までは県が実施、H26からは協会が実施)

県職業能力開発協会において、工業高校の生徒等を対象に、「ものづくりマイスター」等の熟練技能者を派遣し、直接技能指導を実施

	H25	H26	H27 (H28.2末現在)
コース数	18コース	16コース	25コース
受講者数	257人	196人	277人



高校生に対する技能出前講座

目標指標

●若い研究者を育てる会(※)の共同研究に参加した企業の研究者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27 (目標)
研究者数	77人	112人	119人	129人	136人	148人	157人	150人

※県内の中堅企業14社で構成。毎年設定する研究テーマに対し、工業技術センター等で共同研究を推進している。

●能力開発セミナーの受講者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.2月末現在)	H27 (目標)
受講者数	706人	1,553人	858人	1,164人	865人	791人	505人	1,800人
うちレディメイド	706人	458人	473人	428人	223人	241人	147人	300人
うちオーダーメイド	—	1,095人	385人	736人	642人	550人	358人	1,500人

●県立学校全日制工業科高校生のインターンシップ(※)体験率

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27 (目標)
体験者数	589人	989人	1,008人	1,033人	1,008人	1,010人	調査中	1,012人
体験率	51.3%	96.5%	96.8%	100.0%	99.8%	100.0%	調査中	現状維持

※各年高校3年生の体験状況。高校3年間での体験生徒数と3年生全体に占める体験者の割合を記載している。

評価

- 「若い研究者を育てる会の共同研究に参加した企業の研究者数」は、目標を達成。先端的なものづくり分野の人材育成が促進されている。
- 「能力開発セミナーの受講者数」は平成24年度に1,164人となったが、その後減少し目標の50%に満たない状況。県内企業への周知、企業ニーズに応じたカリキュラムへの見直しを図るなど、利用促進に努める必要がある。
- 「県立学校全日制工業科高校生のインターンシップ体験率」は目標を達成(平成26年度実績)。職業に対する意識啓発が図られている。

2 産業構造の変化に柔軟に対応する人材育成

取組の基本方向

今後の成長分野や高付加価値の産業分野等への労働移動が円滑に行われるよう必要な支援に努めるとともに、介護・福祉、観光、農林水産など、新たな地域の課題を解決し、今後の高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材を育成します。

【基本的施策の柱】

- 1 円滑な労働移動のための人材育成
- 2 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成

基本的施策と主な事業の実施状況

1 円滑な労働移動のための人材育成

○職業訓練アドバイザー等の配置

技術専門学院において、求職者に対する職業訓練相談や求人開拓、情報提供を実施

	H25	H26	H27
配置人数	2人	2人	2人
相談件数	423件	294件	313件

○オーダーメイド型在職者訓練の実施

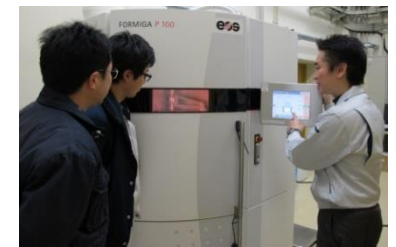
【再掲】 P3

2 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成

○成長分野や新技術の普及等に対応した職業訓練の実施(H26～)

技術専門学院において、成長分野や新技術の普及等に対応した訓練を実施

- ・メカトロニクス科・電子情報科において、3Dプリンターや産業用ロボット等を活用した「デジタルものづくり」カリキュラムの導入
- ・省エネ・耐震・バリアフリー等の最新の住宅施工技術に対応できる技能者を養成するため、エコ住宅リフォーム科を新設



3Dプリンターの活用

○成長分野人材育成講座の実施(H25～)

能力開発セミナーにおいて、ハイブリッド車整備や太陽光発電システム設計等、環境エネルギー分野に関する訓練コースを実施

	H25	H26	H27 ^(H28.2未現在)
受講者数	53人	55人	55人
うちレディメイド	36人(4コース)	32人(4コース)	17人(3コース)
うちオーダーメイド	17人(2コース)	23人(2コース)	67人(7コース)

○介護分野の職業訓練の実施

求人ニーズの高い介護分野の職業訓練を実施

	H25	H26	H27
施設内訓練 定員	96人	96人	96人
委託訓練 定員	565人	585人	485人



介護系職業訓練

○潜在的介護従事者等支援研修の実施(H26～)

一定期間介護現場を離れている潜在的有資格者に対する研修を実施し、福祉現場への再就職を支援

	H26	H27
受講者数	62人	44人

○主任ケアマネジャー医療介護連携研修の実施

介護サービスの充実を図るため、介護関係職員を対象とした在宅医療・介護連携のための実習を含めた研修会を開催

	H25	H26	H27
受講者数	19人	24人	26人



とやま観光未来創造塾

○とやま観光未来創造塾の実施

おもてなし力の向上、観光ガイド、観光魅力アップ等の研修会を開催

	H25	H26	H27
修了者数	67人	75人	65人

○外国人サービス人材育成訓練の実施

県内観光事業者等で雇用型訓練を行い、外国人旅行者への接遇、サービス提供ができる人材を育成

	H27
受講者数	5人

○観光ビジネス人材育成支援訓練コース(民間委託訓練)の実施(H25～)

北陸新幹線の開業により雇用拡大が期待される観光ニーズに対応した訓練コースを設置

	H25	H26	H27
観光ビジネス科 入校者数	7人	6人	-
観光サービス科 入校者数	12人	21人	18人

○とやま農業未来カレッジ研修等の実施

若手農業者の資質向上を図るカレッジでの通年研修・短期研修や就農準備研修等により、次世代の農業人材を育成

	H25	H26	H27
カレッジ通年研修 受講者数	-	-	16人
カレッジ短期研修 受講者数	-	24人	18人
就農啓発 受講者数	21人	24人	20人
就農準備研修 受講者数	8人	8人	8人
農業体験 受講者数	14人	4人	3人

評価

- 一部、参加者数の少ないものもあるが、多様な研修が実施されており、今後の成長分野や高い雇用吸収力が見込まれる分野での人材育成が図られている。

3 職業生涯を通じたキャリア形成支援の充実

取組の基本方向

県民一人ひとりが職業生涯を通じて労働に参加し、それぞれのライフステージに応じて、その能力を十分発揮していけるような、きめ細かなキャリア形成支援を充実します。

【基本的施策の柱】

- 1 学校教育段階からのキャリア教育の充実
- 2 若年者の職業能力開発の促進
- 3 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援
- 4 高齢者の職業能力開発や再就職支援
- 5 特別な支援を要する者の職業能力開発の推進と就職支援

基本的施策と主な事業の実施状況

1 学校教育段階からのキャリア教育の充実

○社会に学ぶ「14歳の挑戦」の実施

中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加

	H24	H25	H26
参加者数	9,717人	9,819人	9,728人
受入事業所数	3,266箇所	3,296箇所	3,319箇所

○高校生インターンシップの実施

社会や職業について現実的な理解を深め、社会参画を考える機会を目的に就業体験を実施

【実施状況は、P14・目標指標に記載】

○大学生等のインターンシップの実施

学生の将来に関連した企業において、短期間の就業体験を実施

【実施状況は、P14・目標指標に記載】

○キャリア・コンサルタントの配置等の体制の強化

技術専門学院にキャリア形成支援室を設置

	H25	H26	H27
就職支援講座開催回数	24回	29回	33回
キャリア・コンサルティング実施回数	216回	273回	211回



14歳の挑戦



高校生インターンシップ

2 若年者の職業能力開発の促進

○ヤングジョブとやま(富山県若者就業支援センター)における支援

フリーター等の若年者の就業を支援するため、総合的な就職支援を実施

	H25	H26	H27 (H28.2末現在)
来所者数	24,516人	22,445人	18,530人
カウンセリング実施人数	1,141人	1,095人	927人
就職者数	1,323人	1,056人	879人

○富山県若者サポートステーションにおける支援

ニート等の若者の自立を促進するため、カウンセリングなどの就職支援を実施

【実施状況は、P14・目標指標に記載】

	H25	H26	H27 (H28.1末現在)
若年者新規求職申込者数	18,713人	17,126人	12,974人
若年者紹介件数	27,305件	23,067件	16,306件
若年者就職者数	7,517人	6,799人	5,025人

○企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の実施

座学と企業における実習を一体的に組み合わせた職業訓練の実施

【実施状況は、P14・目標指標に記載】

○若者の職場定着のための研修会(中小企業新入社員サポート・モデル事業)の実施(H26～)

新入社員の職場定着を図るため、新入社員対象のセミナーや情報交換会等を実施

	H26	H27
受講者数	60人(27企業)	168人(72企業)

○ものづくり人材パワーアップ研修(スタートアップコース)の実施

若手技能者の意欲の高揚、作業改善スキルの習得、チャレンジマインドの醸成を図る研修を実施

	H25	H26	H27
スタートアップコース(※1) 受講者数	26人(2コース)	63人(3コース)	35人(2コース)
小規模企業出前コース(※2) 受講者数	160人(23企業)	70人(13企業)	37人(7企業)

(※1) H25は「若手技能者キャリア・アップ研修」として実施

(※2) H25～H26は「ものづくり技能人材育成研修」として実施



ものづくり人材パワーアップ研修

3 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援

○職業能力開発推進者の選任

従業員の職業能力開発計画の作成や実施の推進者を選任

【実施状況は、P25・目標指標に記載】

○富山県中小企業大学校の開講

経営者や従業員等の資質向上を図る講座を実施

	H25	H26	H27
受講者数	166人	220人	198人



富山県中小企業大学校

○元気とやま！仕事と子育て両立支援企業表彰の実施

仕事と子育てを両立できる職場環境作りに積極的に取り組み、その成果を挙げた企業を表彰

	H25	H26	H27
受賞企業数	10企業	11企業	8企業

○元気とやま！仕事と子育て両立支援セミナーの開催

安心して子どもを生み育てるための職場環境づくりや、男性を含めた働き方の見直しの必要性等について、事業主や従業員、一般県民の理解を深めるためのセミナーを開催

	H25	H26	H27
参加者数	163人	140人	160人

○オーダーメイド型在職者訓練、高度技能人材育成研修の実施

【再掲】 P3

4 高齢者の職業能力開発や再就職支援

○とやまシニア専門人材バンクの運営

専門的な知識・技術等を有する概ね55歳以上の高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援

	H25	H26	H27 (H28.2末現在)
登録者数	501人	582人	543人
登録企業数	326企業	309企業	239企業
就職者数	304人	398人	434人

※H24.10開設



とやまシニア専門人材バンク

○シルバー人材センター事業の実施

高齢者の生きがいや地域社会の発展のため、登録会員への仕事の紹介や技能講習を実施

	H25	H26	H27 (H28.1末現在)
会員数	8,169人	7,944人	7,879人
契約件数	100,895件	99,235件	86,196件

5 特別な支援を要する者の職業能力開発の推進と就職支援

○母子家庭の母等の職業訓練の実施

母子家庭の母等を対象とした職業訓練を実施

※ H25～ 母子家庭の母の対象コースを一般求職者コースに移行

(託児サービス定員枠 H25:委託訓練18人月 H26:委託訓練30人月 H27:施設内訓練30人月、委託訓練120人月)

○母子家庭等就業・自立支援センターにおける支援

母子家庭の母等に対して、就業相談、講習会などの就業支援サービスを実施

	H25	H26	H27 (H28.2末現在)
延べ相談件数	1,021件	903件	810件
就職者数	97人	80人	66人

○障害者職業訓練コーディネーター等の配置

障害者に対して、職業訓練のコーディネート、訓練中の指導、就職支援及び関係機関との連携を実施

	H25	H26	H27
障害者職業訓練コーディネーター 配置人数	1人	1人	1人
障害者職業訓練支援員 配置人数	1人	1人	1人

○障害者就業・生活支援センターにおける支援

障害者の就業を支援するため、就業面、生活面でのサポートを実施

	H25	H26	H27 (H27.12末現在)
就業者数	153人	150人	140人

○アビリンピック参加の促進

障害者の職業能力の向上や雇用の促進等のため、全国障害者技能競技大会(アビリンピック)の参加を促進

	H24	H25	H26
出場選手数	7人 (うち上位入賞1人)	7人 (上位入賞なし)	7人 (上位入賞なし)

※H27は国際アビリンピック開催のため、全国アビリンピックは不開催



アビリンピック選手団激励会

目標指標

●高校生のインターンシップの推進

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27 (目標)
体験者数	3,599人	4,576人	4,425人	5,182人	5,001人	5,265人	調査中	5,020人
体験率	47.0%	66.6%	65.5%	71.3%	71.8%	73.9%	調査中	70.0%

●大学生等のインターンシップの参加者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.2未現在)	H27 (目標)
参加者数	714人	917人	908人	871人	860人	848人	943人	1,100人

●富山県若者サポートステーションでの通所型ジョブトレーニング参加者の就職率

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.2未現在)	H27 (目標)
就職率	21.4%	19.2%	18.2%	24.5%	27.5%	36.4%	52.6%	25.0%

●企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の受講者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.1未現在)	H27 (目標)
受講者数	23人	57人	79人	94人	82人	77人	57人	100人
うち施設内訓練	5人	13人	10人	7人	7人	5人	9人	20人
うち委託訓練	18人	44人	69人	87人	75人	72人	48人	80人

●障害者の職業訓練の受講者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.1未現在)	H27 (目標)
受講者数	20人	50人	49人	40人	30人	31人	23人	75人

評価

- 「高校生のインターンシップの推進(体験者数・体験率)」は目標を達成(平成26年度実績)。学校教育段階からのキャリア教育が促進されている。
- 「大学生等のインターンシップの参加者数」は目標に達していないが、平成27年度は過去最高の参加学生数となっている。今後とも、学生のインターンシップへの参加を促進し、職業に対する意識啓発を図ることが必要である。
- 「富山県若者サポートステーションでの通所型ジョブトレーニング参加者の就職率」は目標を大きく上回っており、引き続き若者の自立支援の促進を図る必要がある。
- 「企業実習付訓練(デュアルシステムコース)の受講者数」は目標に達していない。受入企業や離職者に周知を図るとともに、実施分野の拡大を図る必要がある。
- 「障害者の職業訓練受講者数」は目標を大きく下回っている。企業へのPR、実施企業の開拓など、受講者の増加を図る必要がある。

4 雇用のセーフティネットとしての職業能力開発(離職者訓練)の推進

取組の基本方向

雇用失業情勢の変化に対し、離職者のための多様で質の高い職業訓練の機会を機動的に確保・提供するとともに、きめ細かな就職支援を行います。

【基本的施策の柱】

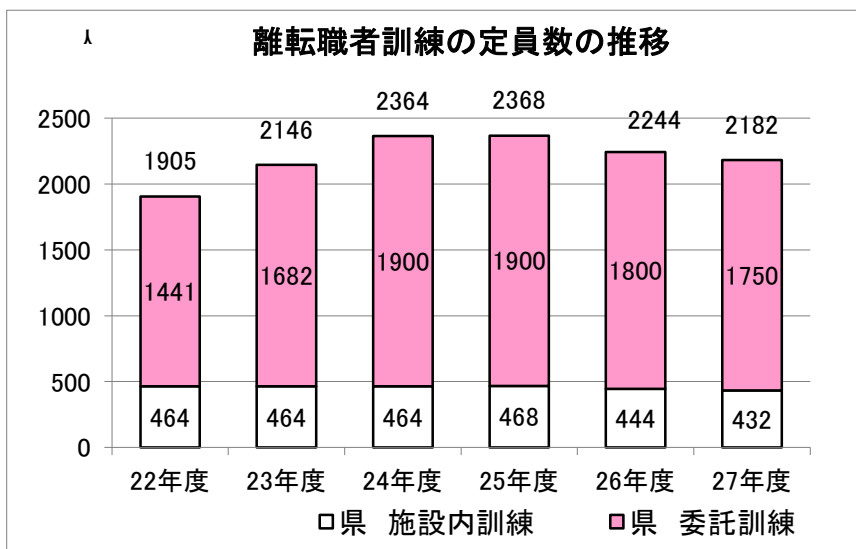
- 1 雇用情勢の変化に迅速・柔軟に対応する職業訓練の実施
- 2 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援

基本的施策と主な事業の実施状況

1 雇用情勢の変化に迅速・柔軟に対応する職業訓練の実施

○離転職者訓練の実施

雇用情勢や求人ニーズに応じて、技術専門学院や民間教育訓練機関において離転職者訓練を実施



施設内訓練 (平成27年度)

	科名	定員
本校	金属加工科	12
	金属ものづくり基礎科	12
	造園管理科	48
	環境エネルギー設備科	24
	木材加工科	36
	OA事務科	72
	計	184
新川	エコ住宅リフォーム科	36
	ビジネス実務科	60
	介護サービス科	48
砺波	パソコン事務科	24
	簿記・会計科	12
	介護サービス科	48
計		432

民間委託訓練 (平成27年度)

	科名	定員
一般離職者	情報系コース	40
	事務系コース	140
	介護系コース	485
	医療事務コース	260
	観光ビジネス人材育成コース	50
	建設人材育成支援コース	40
	企業立地支援コース	200
	グローバル人材コース	40
	資格取得コース	120
	その他コース	185
	企業実習付訓練(デュアルシステム)コース	120
	障害者対象コース	70
	計	

・求職者支援制度

雇用保険を受給できない求職者が、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指すための制度
求職者支援訓練を実施するとともに、訓練受講期間中、一定要件を満たす場合に、月額10万円を上限とする給付金を支給

【求職者支援訓練の計画定員(開講コース定員)】 H25:1,200人(780人) H26:700人(481人) H27:570人(329人) (H28.1末現在)

2 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援

○離職者訓練の実施

求人・求職ニーズに応じた新たな離職者訓練の実施

【H27新設コース】

- ・育児等との両立支援コース 育児等でキャリアを中断した女性等のための、1日の訓練時間を短く設定したコース
- ・介護職員(実務者)養成科 介護分野の人手不足に対応した、介護実務に必要な知識・技能の訓練
- ・建設機械オペレーター科 求人ニーズの高い建設分野で必要とされる建設機械の運転技能や経理事務の訓練

○巡回就職支援指導員等の配置

技術専門学院において、就職情報の提供や訓練委託先の開拓等を実施

	H25	H26	H27
配置人数	18人	16人	16人

○キャリア・コンサルタントの配置

【再掲】 P9



キャリアコンサルティング

目標指標

●離転職者の職業訓練生の就職率

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.1末現在)	H27 (目標)
施設内訓練	74.3%	71.5%	74.3%	79.5%	78.5%	82.9%	84.1%	80%以上
委託訓練	76.8%	68.1%	67.6%	71.1%	76.8%	79.1%	86.1%	70%以上

評価

○「離転職者の職業訓練生の就職率」は目標を達成。求人ニーズを踏まえた職業訓練や就職支援が図られている。

5 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成

取組の基本方向

技能や技能者に対する社会的評価の向上や技能者が意欲的に技能向上に取り組む環境を整備するとともに、次代を担う若者が進んで技能労働者を目指す機運を醸成します。

【基本的施策の柱】

- 1 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備
- 2 技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備
- 3 若者のものづくりマインドの醸成

基本的施策と主な事業の実施状況

1 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備

○「とやまの名匠」の認定

熟練技能を有し、技能の継承や後継者育成などの事業に指導者として、活動する技能者を「とやまの名匠」として認定

(平成23年度から認定者枠を年4人から年10人に拡大)

H27までの被認定者:23職種・71人

○異業種交流会等の開催(若年技能者人材育成支援等事業)

県職業能力開発協会において、本県ものづくり産業の人材育成に携わる関係者が一堂に会する交流会を開催し、技能向上・技能尊重機運の醸成を促進

H27.12.1 特別講演会・交流会開催(93人参加)



「とやまの名匠」認定式

2 技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備

○技能検定の実施

技能検定(特級、1級、2級、3級、単一等級)を実施

	H25	H26	H27
受検者数	2,830人	2,655人	2,112人

※合格率は、P21・目標指標に記載

○全国技能競技大会の参加

	H25	H26	H27
若年者ものづくり 競技大会	第2位(機械製図(CAD)) 【4職種7名出場】	第3位(機械製図(CAD)、 電気工事) 敢闘賞(機械製図(CAD)) 【4職種7名出場】	金賞(機械製図(CAD)) 銅賞(機械製図(CAD)) 【3職種5名出場】
技能五輪 全国大会	入賞なし 【9職種12名出場】	敢闘賞(フライス盤、フラ ワー装飾) 【7職種11名出場】	銅賞(フライス盤) 【8職種15名出場】
技能グランプリ	(隔年開催のため不開催)	銀賞(壁装) 敢闘賞(かわらぶき) 【2職種3名出場】	(隔年開催のため不開催)
全国障害者 技能競技大会 (アビリンピック)	努力賞(表計算) 【7種目7名出場】	努力賞(ワード・プロセッ サ) 【7種目7名出場】	(国際アビリンピック開催 のため不開催)



技能五輪全国大会

○全国大会の上位入賞者への知事奨励賞の実施

技能五輪をはじめとする技能競技の全国大会において優秀な成績を収めた個人に対し顕彰

	H25	H26	H27
受賞者数	1人 (若年者ものづくり競技大会第2位)	3人 (技能グランプリ銀賞、 若年者ものづくり競技大会第3位②)	3人 (技能五輪全国大会銅賞、 若年者ものづくり競技大会金賞・銅賞)

3 若者のものづくりマインドの醸成

○ものづくり体験事業の実施

技術専門学院において、小学生等を対象としたものづくりの魅力や楽しさを体験する事業を実施

	H25	H26	H27
参加者数	261人	310人	292人

○高校生に対するものづくり技能出前講座の実施

【再掲】 P4

○若年者ものづくり競技大会の参加

【再掲】 P20



夏休みものづくり体験

目標指標

●技能検定の合格者数及び合格率(基礎級を除く)

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27 (目標)
合格者数	1,738人	1,443人	1,430人	1,482人	1,449人	1,335人	1,068人	1,500人
合格率	42.9%	44.1%	48.5%	49.5%	51.2%	50.3%	50.6%	50%以上

●技能五輪の参加者数及び上位入賞者数

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27 (目標)
参加者数	5人	5人	7人	10人	12人	11人	15人	10人
上位入賞者	銅賞(1人)	銀賞(1人)	銀賞(1人)	—	—	—	銅賞(1人)	優勝

評価

- 「技能検定の合格率(基礎級を除く)」は目標を達成。技能者の技能向上の取り組みが図られている。
- 「技能検定の合格者数(基礎級を除く)」は平成24年度に1,482人に達したが、その後減少し目標に達していない(平成27年度には機械保全職種(H22～H26平均合格者数338.2人)が民間団体へ移管されたことなどによる)。学校や企業への周知や、技能指導の実施を図る必要がある。
- 「技能五輪の参加者数」は、目標を達成。技能向上の機運の醸成が図られている。

6 職業能力開発の推進体制の整備

取組の基本方向

国、県をはじめ、能力開発に携わる関係機関との一層の役割分担と連携の促進を図り、能率的・効果的な取組に努めるとともに、多様化、高度化する人材育成ニーズを踏まえ、県の行う職業能力開発を充実します。

【基本的施策の柱】

- 1 県が行う職業能力開発の向上・改善
- 2 国、県、市町村、民間及び産業界の連携の促進
- 3 企業の職業能力開発力向上への支援

基本的施策と主な事業の実施状況

1 県が行う職業能力開発の向上・改善

○女性も受講しやすいものづくり基礎コースの新設や託児サービスの導入等(H27～)

雇用のミスマッチ解消と女性の就職先の職域拡大のため、ものづくり分野での離職者向け訓練コースを拡充

- ・金属ものづくり基礎科の新設
- ・訓練中の託児サービス等の導入

○企業ニーズや成長分野に対応した訓練機器の導入(H26～)

技術専門学院に企業ニーズや成長分野に対応した訓練機器を導入

- ・3Dプリンター、ロボット制御装置等の導入
- ・耐震・耐熱・内装施工実習用装置等の導入

○職業訓練推進会議(外部委員会)の開催

技術専門学院において、労働局、経済団体、企業等で構成する外部委員会「職業訓練推進協議会」を開催

【H27開催状況】

平成27年12月11日

- ・H26職業訓練実施実績、H27職業訓練実施状況、H28職業訓練の課題と対応について 等



外部委員会

○職業訓練指導員の資質向上

職業能力開発総合大学校等において、技術専門学院の指導員が専門分野の指導技能の向上、新分野の指導技法の習得研修を受講

	H25	H26	H27
受講者数	18人	21人	15人

○職業訓練指導員のキャリア・コンサルティング技法の習得

訓練生のキャリア形成や就職指導の向上のためのコンサルティング技法を習得(登録キャリア・コンサルタント資格取得)

※ 技術専門学院の就職支援担当職員は、ほぼ資格取得済み

2 国、県、市町村、民間及び産業界の連携の促進

○関連機関相互の連携会議の開催

効果的な訓練の実施に向けての連携会議を開催

富山県地域訓練協議会、職業訓練担当者連絡会議、雇用対策連絡調整会議、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会等連絡会議において、訓練等の情報共有や意見交換を実施

・県内3市が運営する職業訓練センターにおける教育訓練の実施

職業訓練センターにおける多様な教育訓練講座の実施
(職業実務講座、資格取得講座、パソコン実用講座など)

3 企業の職業能力開発力向上への支援

○職業能力開発推進者講習会の実施

県職業能力開発協会における職業能力開発推進者の資質向上を図る講習会の実施

	H25	H26	H27
受講者数	30人	49人	87人

○職業能力開発優良企業表彰の実施

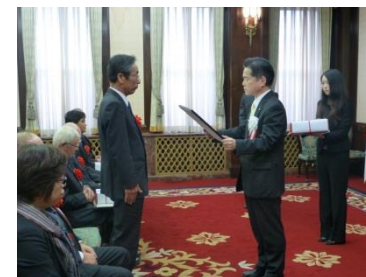
従業員に対し、能力開発教育訓練を実施し、顕著な訓練効果を挙げている企業を県が表彰

	H25	H26	H27
受賞企業数	3企業	3企業	3企業

○認定校の企業表彰の実施

認定職業訓練校に携わっている者で運営に多大の尽力をしている者を県職業能力開発協会が表彰

	H25	H26	H27
受賞者数	2人	1人	1人



職業能力開発優良企業表彰

目標指標

●職業能力開発推進者の選任数及び選任率

	H18	H22	H23	H24	H25	H26	H27 (H28.2末現在)	H27 (目標)
選任数	1,531人	1,736人	1,761人	1,795人	1,823人	1,837人	1,877人	2,000人
うち100人以上の 事務所	318人	356人	361人	366人	368人	370人	371人	400人
選任率※	53.4%	58.0%	57.6%	57.7%	54.4%	55.3%	54.3%	65.0%

※選任率は、100人以上の事務所における選任割合である。

評価

○「職業能力開発推進者の選任数及び選任率」は、ともに目標に達していない。県内企業への周知をさらに図り、職業能力開発の推進体制を整備する必要がある。